

Popoki



Newsletter No.200 2022.4.25

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>



4月！お花が至るところにあります！
平和もいたるところにあってほしいね！

Popoki's Hot News!



NEW!

ロニー・アレキサンダー編著
『ポーポキのマスクギャラリー ～コロナ禍でアートを通して
日常の安心を探る～』神戸大学出版会 2022.2.22 発行

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だち**松田康之にゃん**は、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「対立から対話へ」

ロシアとウクライナの争いは、多くの人々の生命を奪い去っています。私たちは過去の歴史から何を学んできたのかと、改めて感じさせられます。一刻も早く力による対立から対話へと歩みを進め、安心して日々を過ごすことができる状況になるようにと願います。

平和学の研究者であるヨハン・ガルトウング博士は「積極的平和」を提唱されています。戦争がなく、かつ貧困・抑圧・差別などの構造的暴力がない状態を示したものです。このように考えると、遠くロシアとウクライナの争いだけでなく、私たちの身の回りでも平和が脅かされていることが多々あるのではないのでしょうか？日々の人々との交わりの中で、積極的平和ということを踏まえながら、互いに支え合うことのできる社会を標榜して歩んでいきたいと思えます。

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !

びっくり箱 Part.11 でポーポキ・ピース・プロジェクトとコラボ

びっくり箱実行委員会

「負けない忘れない 3.11～ここから生まれる未来 びっくり箱」は東日本大震災の惨事を風化させず、被災地を支援し続けたいという思いで 2011 年から開催している催しです。2014 年から兵庫県宝塚市にあるソリオホールに場所を移し実行委員会形式で毎年 3 月に実施しており、「親子で舞台芸術を体験しながら、震災後の現在・未来を考えるフェスティバル」として定着してきました。

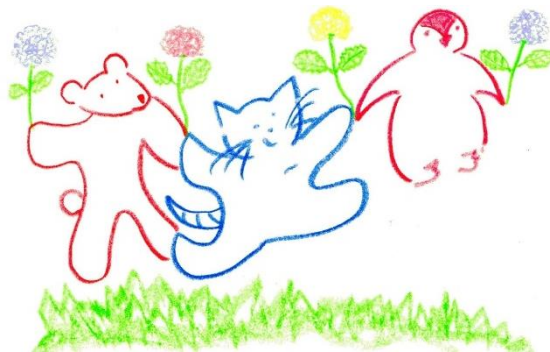
そして 2022 年 3 月 6 日(日)に宝塚ソリオホールで 11 回目の「びっくり箱」が行われました。この中で、ポーポキ・ピース・プロジェクトの皆さんが大船渡北小学校(岩手県)の子どもたちと実施してきた、三年に渡るワークショップや交流の様子を展示させていただきました。展示作業をしていたびっくり箱メンバー達からは、「こんな素敵な学びが出来る小学生達は、幸せだなあ」との声が聞かれ、模造紙いっぱい描かれた安心出来る場所の大きな地図に見入るメンバーの姿がありました。

びっくり箱とポーポキとのそもそもの出会いは、「びっくり箱の 10 年の記録」の冊子を作成するにあたって、ロニー・アレキサンダー先生に寄稿をお願いしたことに始まります。ポーポキ・ピース・プロジェクトのしなやかさを持った力強い活動に感動しました。被災地や紛争地帯の子どもたちの処まで足を運び、平和ってどんな感じ？安心出来るってどんな時？と語りかけ、こども達の心に寄り添い、同じ時と思いをいかに共有するかを考え、活動されている！私たちのこども達への思いと共鳴することが多く、何かご一緒できないか？したい！と。幸いにもご快諾いただき、資料展示が実現しました。当日会場では多くの参加者に観ていただくことができました。

これから「びっくり箱」実行委員会では、来年3月にむけて準備をスタートします。次はポーポキ・ピース・プロジェクトとどのような企画が実現できるか、とても楽しみです。

今回作成した「びっくり箱 10 年の記録～ここから生まれる未来～」に、ロニー・アレキサンダー先生の特別寄稿も掲載しています。こちらもぜひお手にとって読んでいただければと思います。

*「びっくり箱10年の記録」を読みたいかたは、ろにゃんに声をかけてください。





公演風景(若駒、ぼうさいげき)
展示風景(大人、子ども)



ロニー・アレキサンダー教授の最終講義をふりかえって

ディニャン
(訳 やこにゃん)

私が研究科のウェブサイトで ロニー・アレキサンダー教授の最終講義のお知らせを見たときには、もうすでに申し込み期限が過ぎていました。先生に直接お会いして、きちんとお礼を述べる機会を失ってしまったと、私は悲しく思いました。2018年に私が研究生として神戸大学に入学した頃の頃、先生は私を歓迎してポーポキと仲間たちを紹介してくれた初めての人たちの一人でした。先生に直接コンタクトを取ればそのイベントに出席する機会を得られるかもしれないと、私は自分の運を試してみようと思いました。幸運なことに、常にそうであるように先生は喜んで迎え入れてくれる方なので、親切にも私の願いをかなえてくれました。

最終講義は3月9日に行われました。最終講義のテーマは「『大きな夢と小さな島々』からの30年をふりかえって、明日へ」でした。ロニー・アレキサンダー教授は、彼女の教育

ポーポキ・ピース・プロジェクト <http://popoki.cruisejapan.com> ・ ronniandpopoki@gmail.com

的背景、仕事の経験、そしてなぜ彼女が平和と小さな島嶼国の非核化に焦点をあてるのかについて語りました。平和は、先生が人生をかけて主として追求してきたものでした。すなわち、平和研究、平和教育、平和活動です。この旅路の間、ポーポキは先生とたくさんの私たちに寄り添ってきました。一匹の猫、人間ではない、かわいい小さな生き物として、ポーポキには私たちと共にいて私たちを結びつける、生まれつきの才能があります。

講義のすべてが勉強になりました。先生は、お話を語ること、文化、アイデンティティの重要性について話しました。実際に、これらのすべてが平和づくりのために大切です。私たちは本当に幼いときから物語を聞いています。そして、そのいくつかに関して、私たちはいまだにそれらが伝えるメッセージに心地良さを見出すのです。というのも、文化とは、私たちが観察するものであり、私たちがそこに浸って成長するものです。それは人生における私たちの好みに根本的な影響を与えるのです。私たちの装い方や信じる神、さらには食事の際に用いるスパイスといったように。そして、アイデンティティですが、これは私たちに所属の感覚を与え、私たちを私たちが私たちであると思うような人々にするものです。しかしながら、それはまた注意が必要なものです。なぜならば、私たちの生物学的な性質は、集団の一部であることによって、私たちを害される可能性から遠ざけ安全であると感じることを好むからです。この性質は、特に不十分な情報にさらされているときに、私たちを簡単に操作し私たちに付け入ります。

Anzen (安全) と Anshin (安心) の違いもまた、講義の中で述べられていました。言葉では似て見えるほんの小さな変化が、実際には異なることを意味しています。前者は物理的に安全であることについて言及しています。一方で後者は安全に感じることや、もしくは心の安全を意味しています。これらすべてに加えて、虹色しっぽのポーポキが、東ティモールでは「平和」や「日本」のような言葉に、またパレスチナでは「占領反対」のような言葉に囲まれている絵の写真もありました。このことは私にポーポキのかけがえのない役割についてより多くのことを感じさせました。人間ではないものの代表として、ポーポキは、平和のメッセージを広め、対話を始め、関係を築くのです。



この短いふりかえりの最後に、私はロニー・アレキサンダー教授に対して、先生の献身的な仕事と、私たちの人生にポーポキをもたらしてくれたことへの感謝の意を表したいと思います。先生が幸せで健康で充実した退職後の人生を送ることを心より願っております。ポーポキと仲間たちの更なる本と更なる活動を私は心待ちにしています。

* 参加できなかった方のために録画しました。<https://youtu.be/trbxJSP7-CY> をご覧ください。

Popoki's Video Gallery

ポーポキの動画をぜひみてください！

ポーポキのマスクギャラリー～新型コロナウイルス感染拡大を生きる

<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

ポーポキのおうち

<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

ポーポキと一緒に平和のパクパクをつくりましょう！

<https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ>

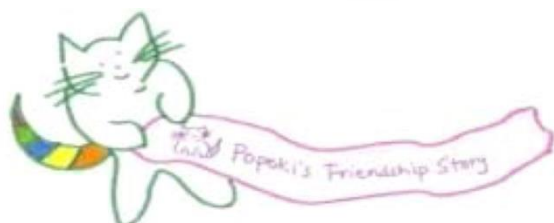
ポーポキのピースマップ

<https://youtu.be/4t4PFV-dRBg>

ロニー・アレキサンダーの最終講義（ポーポキではないが、お許しください）

「大きな夢と小さな島々～30年間でふりかえって、そして明日へ」

<https://youtu.be/trbxJSP7-CY>



Popoki's Interview

べさにゃん

*新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、べさにゃんがインタビューをしてくれました。

私は西田俊一さん（65歳）をインタビューしました。彼は兵庫県芦屋市に住んでおり、職業は会社経営です。

Q: 最初に、自己紹介をしていただけますか。

A: 小さい頃よりサッカーが好きで中学校、高校、大学とサッカーを愛好しています。社会人になっても仕事の合間に高校のサッカー部のOBのサッカーチームで社会人チームとして活動していました。

その後、小学生のサッカーの指導者となりサッカー協会の役員となり協会運営にかかわる中でサッカー協会の会長となり他の競技協会を統括する芦屋市の体育協会会長となりました。現在サッカーや他のスポーツを通じて芦屋市の地域スポーツを文化として普及発展させるように取り組んでいます。また芦屋ロータリークラブには2年前に入会しました。

Q: 「スポーツ」の意義は何ですか。

スポーツとは本来遊びであり体を動かすことで楽しみ競い合う中でそれぞれの競技が生まれルールを競技者が作っていったという歴史がある。すなわち遊びの中から競技が生まれそれぞれの競技者が楽しみ競い合うなかでルールが生まれそれがそれぞれのスポーツになってきたのがスポーツの原点です。すなわちスポーツとは自ら好んでするものであり、やらされるものではないというのが本質であり、相手よりうまくなりたい早くなりたい強くなりたいと競技者自らが思い切磋琢磨し相手に勝ちたいと思うところにスポーツの意義があると思います。スポーツを日本では体育として教育に利用していますが、それを否定するものではありませんが体育を認めたとしてもそれはスポーツのほんの一部でありすべてではないということ日本人はもっと学ぶべきです。

スポーツ本来の魅力はその競技者が、楽しく努力し目標を持ちトレーニングをすることで目標を達成し、充実感を得ることにあると思います。スポーツのすばらしさはそれぞれのスポーツ競技性は違っても楽しむこと、そこから自ら上手くなりたい強くなりたいと努力する事、そして目標に向かい練習をかせねることです。もし目標が達成できなくてもリスタートして次の目標を決めやり直すことができるということは、スポーツを楽しむということ。併せて目標の為に努力するという事は、人生をスポーツというもので体現できおのずから人間形成にもつながると思われます。これがスポーツの意義ではないかと私は思います。

Q: 西田さんにとって、「平和」というのは、何ですか。

簡単に言うと戦争でないこと。私たちの親世代は戦争を経験しその悲惨さをきかされて育ちました。ただ、今の日本人のほとんどは戦争を知らないです。それがどんなに平和かということを感じたいです。私にとっての平和は、狭義では、私や家族が健康で毎日を豊かに暮らすことです。広義では戦争や災害がないことです。

Q: 普段はどのようなときに平和を感じますか。

家族が集まった時に子供たちや孫の成長を感じる時。

Q: スポーツと平和が関係していると思いますか。あるとすれば、それはどんな関係ですか。ないなら、それはなぜですか。

スポーツすることの意義に、楽しむことともう一つ競技力の向上というのがあります。競技力の向上において自分のスキルを高めること、また相手よりうまくなる競技会においてより良い成績を上げること。すなわち競技会で勝つことです。これは競争であり戦いでもあります。どんなスポーツでもライバルに勝とうという意識が大切です。でもこれは喧嘩や戦争と似て非なるものであり、全く違うものです。そこにはマナーやルールがありその中でお互いが競い合い全力を尽くすのです。そこにあるのは仲間やスタッフに対してのレスペクトであ

り、それは相手チームへもリスペクトが必要です。この精神が憎しみではなく、たとえ戦っていた相手との間に友情が生まれるということです。これは人と人のつながりでありそのつながりが国を超えて個々の友情で結ばれることが自分たちの国を戦争へ導かないという意思に代わることがスポーツが政治や宗教を超えて平和を維持する一つの道だと思います。

Q: 大変な時に、スポーツに救われたことはありますか。

私は40代の時に悪性リンパ腫という癌にかかり化学療法から骨髄移植という治療を受けました。この治療はつらく長く永遠に続く拷問のように思えるような治療です。そして命の戦いです。その時私は、生きようという強い思いと、学生の時にサッカーをしていたのですが日々の練習や強化合宿で苦しい練習を経験したことが救いでした。あの夏の合宿で同じ練習を何度も何度も繰り返し鬼のようなコーチに鍛えられたことを思いだし、あの練習に比べたらこの治療も耐えられると自分に言い聞かせてつらい治療に向かっていきました。その結果治療に耐えてすべての治療を最後まで受けられたことはスポーツで養った精神力と体力だと思います。

Q: あまりスポーツをしたことがない人へ励ます言葉はありますか。例えば、恥ずかしがる子どもや、「こんなことをやるには歳を取りすぎた」と思っている人等に対して)

まず、スポーツを競技とだけ考えずDO SPORTS！体を動かすこと、自分が楽しむことそれだけを考えて始めてほしいですね。うまくするとか強くなることは考えず周りの人がどう思うかも関係なく自分自身が楽しいかどうか、そして気の合う仲間がそこにいるかどうかこの二つで始めれば遊びの延長としてスポーツがあることが分かると思います。歳をとっても自分ができることを

Q: スポーツを通して、どのように周りの人へ貢献できますか。

スポーツはいつも思うのですが、まず自分が楽しむこと。仲間が楽しむこと。特にトップアスリートの育成ではなく地域スポーツの役割はスポーツにかかわる人たちがそれぞれ地域住民であり地域社会の住民であります。スポーツ仲間がスポーツで培ったスポーツシップで市民モラルの向上をはかりまちづくりに貢献することが地域スポーツのもう一つの役割だと思います。

Q: 西田さんが参加しているボランティア活動について教えてください。

- ① 癌啓発のリレーフォーライフ芦屋という事業に私は長年にわたり実行副委員をしています。また私が所属する芦屋体育協会が共催しています。
- ② 東日本大震災支援事業として芦屋ユナイテッドリレーマラソンと芦屋ユナイテッドゴルフ大会を開催しています。
- ③ 芦屋市と共にクリーン作戦に積極的に参加しています。
- ④ 芦屋市の潮芦屋ビーチのクリーン作戦を芦屋市体育協会（会長西田俊一）が主催しスポーツ仲間と {潮芦屋ビーチクリーン大作戦} を毎年実施。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 168

今月のテーマはストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立ちましょう。両手をあげて、右手で左の手首を持って、ゆっくり上半身を右へ引っ張っていき、左側をのばしましょう。反対側も試みてね！
 3. 次は、両手を腰に当てましょう。ゆっくりうしろへ腰をのばしましょう。
 4. 今度は手を足の前へもっていきましょう。ゆっくりと手を左足の外側へ。右側がのびるでしょう。では、今度は右足の外へ手をおき、左側をのばします。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：2022年5月11日 Zoom会議 19:00～*

***リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

- ・5月10日 読み聞かせ・平和を考えるイベント(アスクパーク)
- ・5月11日 ポーポキと一緒に平和を考えるワークショップ (モルドバの高校生と)。
- ・8月3日 多文化共生セミナーで平和を考えるワークショップ
- ・8月9日? 核を考えるワークショップ(zoom)
- ・10月? 平和と健康ワークショップ

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

- ・『りょうくんのすすむみちー学校に行けない君たちへー』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子 (2020) 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17-32 (2020年1月発行) http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- ・Alexander, Ronni (2021) "The Meaning of Art in Disaster Support: Stories from the Popoki Peace Project," *Journal of International Cooperation Studies*, 28(2), 1-22. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- ・Alexander, Ronni (2022) "Art-stories as reflection: Learning from the Popoki Peace Project," *Journal of International Cooperation Studies*, 29(2), 27-51. <http://www.research.kobe-u.ac.jp/gsics-publication/jics/>

ポーポキ・ピース・プロジェクト <http://popoki.cruisejapan.com> ・ [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com)

アマゾンで買えるよ!

全編日英対照

神戸大学出版会

ポーポキの マスクギャラリー

～コロナ禍でアートを通して
日常の安心を探る～

編著・絵 ロニー・アレキサンダー

Written, edited and illustrated by Ronni Alexander



A5判・192ページ
定価 2,420円(税込)

【本書の内容】

前書き

第一部：ことばの旅

「ことばの旅」への誘い

第二部：「お絵描き」の旅

- ① 物語を描くということ
- ② くちゃくちゃ
- ③ 色たち
- ④ いかなきゃ(桂木聡子)
- ⑤ 2021.1.17 に想う
- ⑥ 乱れ
- ⑦ プール

第三部：「ふりかえり」の旅

「ふりかえり」の旅

- ① ポーポキのマスクギャラリー — 基盤となる日本人の伝統的思考法を考える—(高田西)
Popoki's Mask Gallery — A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi)
- ② 対談：アナ・アガサングロウとロニー・アレキサンダー(世界国際関係学会年次研究大会2021年)
Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander (International Studies Association Annual Conference 2021)
- ③ ポーポキの旅: ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり(ロニー・アレキサンダー)
Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander)

後書き：新たな旅

今度はあなた

Prologue

Part I: A Word Journey

An Invitation to take a Word Journey

Part II: A Drawing Journey

The Meaning of Drawing Stories

All Messed Up

Colors

I've Gotta Go (Katsuragi Satoko)

Thoughts on 17 January 2021

Confusion

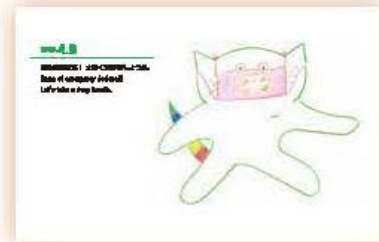
Pool

Part III: A Journey of Reflection

A Journey of Reflection

Epilogue: A New Journey

Now it is Your Turn



本文より抜粋



発行：神戸大学出版会 <https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>
神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 Tel. 078-803-7315 Fax. 078-361-7320

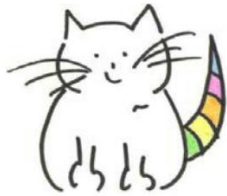
発売：神戸新聞総合出版センター
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F Tel. 078-362-7138 Fax. 078-361-7552

Popoki in Print ポーポキ通信のバックナンバー <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

➤ アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する :

絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色?」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10



私にとってポーポキ

こにゃん（神戸大学出版会）

アレキサンダー先生とポーポキのことは、最初の絵本が出たときから気になっていました。神戸大学出版会ができて担当になったときに、ガチガチの専門書だけじゃなくて、ほんわかしているけど奥が深いポーポキの本が作れたらいいな、とぼんやり思っていました。

コロナ禍になって、世の中がオンライン一色になっていきました。でも、紙の本は思ったより需要がありそうです。そんなときにアレキサンダー先生から「『ポーポキのマスクギャラリー』」を本にしたい！」という熱意のこもったご相談をいただきました。オンラインの世界でがんばっているポーポキを紙の上に乗せたら、想像の世界は無限に膨らむだろうと思って、「ぜひやりましょう！」と、私に権限はないのですがお返事をしました。

オンラインで見る「ポーポキのマスクギャラリー」はスマホやパソコンの画面に際限なく現れます。でも、元々のポーポキはアレキサンダー先生の手で、こだわりの用紙にこだわりの色鉛筆で生まれ、ファイルの中にいます。本を作るためのお金と厚さに限界があるので、600を超えるポーポキから、アレキサンダー先生は何回も何回も、セレクションを重ねました。この本のために書き下ろしたポーポキもいますし、どこかに置き忘れていた「ヒゲ」を取り戻しに行くこともありました。

我が家には2歳になったばかりの孫娘がいて、ぬいぐるみなど、かわいいものが部屋中にあります。よく見るとミッフィーちゃんの口は「X」です。キティちゃんには口が書いてありません。ポーポキのマスクもこれらキャラクターのように、「表情を想像する」ためのツールなのではないでしょうか。シンボリックなマスクを付けて、その手にはいろんなものを持っています。体全体でハグしたり、時にはとんがったり、にじんだりします。目はハートだったり三角だったり、鯉のぼりになっているときだってあります。何より雄弁なのは人間にはない「しっぽ」です。マスクだけでなく全身で平和を、友情を、そして「安心」を表現するポーちゃんを楽しんで下さい。

孫娘に出来上がったばかりの「ポーポキのマスクギャラリー」を見せると、自分から紙とペンを要求してお絵かきを始めました。「絵を描きたい」という衝動を引き起こす何かがこの本にはありそうです。





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!